

1.「The End」

蝕んで 食い尽くす 食い尽くす

冷めた目で 見殺す 見殺す

躊躇なく 繰り返す 繰り返す

讃美歌は 聞こえない 聞こえない

愚か過ぎる 人間よ 人間よ

愚か過ぎる 人間よ 人間よ

※ The End The End The End The End

The End The End The End The End

誇りさえ 奪い取る 奪い取る

ハイエナは 殺し合う 殺し合う

終焉の鐘さ 人間よ 人間よ

終焉の鐘さ 人間よ 人間よ

※繰り返し

※繰り返し

排除 対立 策略 侵攻 統制 拡張

植民地 恐怖政治 スレイブ 虐殺

※繰り返し

※繰り返し

.....

2.「一つ一つ」

生きて 悲しみを知り 生きて 優しさ学び

生きて キミの事 想う

生きて 苦しみを知り 生きて 堪える心学び

生きて キミの事を許す

丘の上の雲は ぼんやりと浮かんで

足早な世界の 時を止めるように

一つ一つのボクの想い込めて

ゆっくりと少しずつ

一つ一つをこの体に重なり合わせ

無駄にはしたくない ボクのこの人生を

生きて 愛を覚えて 生きて 涙を流し

生きて 生きる事に迷う

生きて ズルさを覚え 生きて 誤ちを犯し

生きて 生きる事に悩む

闇の中の月は 美しく浮かんで

背を向ける心を 洗い流すように

一つ一つのボクの願い込めて

ゆっくりと少しずつ

一つ一つをこの体に重なり合わせ

無駄にはしたくない ボクのこの人生を

生きて 意味を探して 生きて 答え見つけて

生きて ありがとうって 生きて

3.「Blue bird」

青い鳥は大きな 夢を抱えて 小さな翼広げ

ボクはコーヒー飲んで ため息をつき

今日をやり過ごす

立ち向かう心に気付かないフリして

情けない心でただ青い鳥を見る

お日様は大きな 愛を照らして 力を与え続ける

ボクは相槌打って 理屈をこねて つまらない日を送る

輝いた心を持つ勇気もなく

沈みゆく心でただお日様を見る

そうだよ 明日もそんな風に想って生きて

いつかは想いが届く日が訪れたら良いな

青い鳥は自由に 大空舞って 幸せ掴もうとする

ボクもいつか大きな 夢を抱えて 翼広げよう

弾む心見つけ前を向いて歩こう

輝いた心で生きて行きたい

そうだよ 明日もそんな風に想って生きて

いつかは想いが届く日が訪れたら良いな

青い鳥は大きな 夢を抱えて 小さな翼広げ

ボクもいつか大きな 夢を探しに 翼広げよう

4.「水の泡」

水の泡さ 全ては 水の泡さ 全ては

どうせこの世はまやかしさ

おさらばだぜ 嘘っぱち

井の中の蛙さ 井の中の蛙さ

どうせ元の本阿弥さ

おさらばだぜ 嘘っぱち

狂気の沙汰の中 綱渡りしてる

オレは虫の息 泥水をかぶり

生き延びる為に

死んだように生きて行くのさ

藁をも掴むのさ 藁をも掴むのさ

どうせ蜘蛛の糸は無い

おさらばだぜ 嘘っぱち

狂気の沙汰の中 綱渡りをしてる

オレは虫の息 泥水をかぶり

生き延びる為に

死んだように生きて行くのさ

どうせ 骨折り損のくたびれ儲け

どうせ 骨折り損のくたびれ儲け

どうせ 骨折り損のくたびれ儲け

どうせ 骨折り損のくたびれ儲け

5.「恋はバラ色」

恋に落ちた瞬間に 何を見てもバラ色のように
今この時が愛おしくて嘘みたいに優しくなれる

自分の事は二の次でも思いやりを持てるようになり
可笑しなくらいに笑い合って
かけがえのない時が流れる

恋で何もかもが美しく変わる
世界中に散りばめられてる
恋をするだけで地球は変わる
産まれながら誰もが持ってる素晴らしい武器さ

傷つけ合いするよりも あなたの事を好きになって
空や海や動物達を 二人並んで眺めよう

あなたがここに居るだけで
ボクの胸は高鳴っていつて
離れててもあなたの事で
一日中ドキドキしてる

恋で何もかもが美しく変わる
世界中に散りばめられてる
恋をするだけで地球は変わる
産まれながら誰もが持ってる素晴らしい武器さ

恋で何もかもが美しく変わる
世界中に散りばめられてる
恋をするだけで地球は変わる
産まれながら誰もが持ってる素晴らしい武器さ

6.「夜明けは近い」

今こそ叩き潰せ 力任せ

もうウンザリ ヘドが出る ゲス

面白い奴らが 集まっているぜ
始まる メチャクチャな夜が

常軌を無くした 最高の輩
狂喜乱舞 転がる夜さ

夜明けは近いぜ 夜明けは近いぜ

愛の無い奴らが 蔑んでるぜ
裏を取れ 掻き回してやるぜ

小汚い奴らに 牛耳られてる
先手打って ブチかましてやるぜ

夜明けは近いぜ 夜明けは近いぜ
もうすぐそこさ もうすぐそこさ

今こそ叩き潰せ 力任せ

もうウンザリさ ヘドが出る ゲス
あざとい奴らの言いなりはごめんさ

始まる オレ達の夜が
狂喜乱舞 オレ達の夜さ

7.「霧深い森」

霧深い森へ 迷い込んでしまい
いくら歩いても また同じ場所へ

少年の頃は 夢追いかけて
何処までだって 走って行けた

時は過ぎて 幻を見るように
ボクは気付くと 年老いていたのさ

道案内は現れてくれず 一人で
迷路に迷ってボクは立ち止まっているのさ

この森で見た 光差す地へ
もう向かう事は無い
もう歩く事は無い

霧深い森へ 迷い込んでしまい
いくら歩いても また同じ場所へ

長い間 平穏だったけど
ボクは気付くと 希望を失くしてた

道案内は現れてくれず 一人で
迷路に迷ってボクは立ち止まっているのさ

この森で見た 光差す地へ
もう向かう事は無い
もう歩く事は無い

8.「パラソル」

五月雨降る 街に出て
パラソル開いて 踊っている

何処に居るの 人影探し
この孤独な役を演じてる

ほろ苦い雨よ ボクを包んで
ほんの少しだけ忘れさせてくれ
この恋が終わるまで 心癒えるまで

雨の中を 通り行く 幸せそうな 人の影

涙のような 雨は悲しく
この孤独な役を演じてる

ほろ苦い雨よ ボクを包んで
ほんの少しだけ忘れさせてくれ
この恋が終わるまで

ほろ苦い雨よ ボクを包んで
ほんの少しだけ忘れさせてくれ
この恋が終わるまで
心癒えるまで 幕が閉じるまで